

評点
100

推定配点

8 7 5 3 1
各 (1) 6 4 2
4
点 (2) 各 各 各
× 3 2 1
5 各 点 点 点
3 × × ×
点 10 15 6
× 2
(3)
(4)
各 4 点 × 2

＊＊注意事項＊＊

1. H BまたはBの黒鉛筆を使うこと。
2. 間違えたマークは、完全に消すこと。
3. 用紙を、折曲げたり汚さないこと。

マーク記入例

良い例	<input checked="" type="radio"/>	悪い例	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>
-----	----------------------------------	-----	--

氏名

--

※受験番号を確認すること

受験番号			
千	百	十	一
①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

100点

計

1

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D

2

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D

3

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D
(4)	A	B	C	D
(5)	A	B	C	D
(6)	A	B	C	D
(7)	A	B	C	D
(8)	A	B	C	D
(9)	A	B	C	D
(10)	A	B	C	D

4

(1)	ア	A	B	C	D	E	F	G
(2)	イ	A	B	C	D	E	F	G

(3)	ウ	A	B	C	D	E	F	G
(4)	オ	A	B	C	D	E	F	G
(5)	カ	A	B	C	D	E	F	G
(6)	キ	A	B	C	D	E	F	G
(7)	ク	A	B	C	D	E	F	G
(8)	ケ	A	B	C	D	E	F	G
(9)	コ	A	B	C	D	E	F	G

5

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D
(4)	A	B	C	D
(5)	A	B	C	D

6

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D
(4)	A	B	C	D
(5)	A	B	C	D

7

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D
(4)	A	B	C	D

8

(1)	A	B	C	D
(2)	A	B	C	D
(3)	A	B	C	D
(4)	A	B	C	D
(5)	A	B	C	D

(注) この解答用紙は実物を縮小してあります。B4用紙に143%拡大コピーすると、ほぼ実物大で使用できます。(タイトルと配点表は含みません)

数学解答用紙

評点
100

推定配点

2 1
4 (1)
各 5
各 4
15 点 ×
2 5 (5) は完答
5 点

* * 注意事項 * *

1. HBまたはBの黒鉛筆を使うこと。
2. 間違えたマークは、完全に消すこと。
3. 用紙を、折曲げたり汚さないこと。

マーク記入例

良い例	<input checked="" type="checkbox"/>	悪い例	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
-----	-------------------------------------	-----	---

氏名

--

※受験番号を確認すること



受験番号			
千	百	十	一
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
⑳	⑳	⑳	⑳

1

(1)	ア	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	イ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(2)	ウ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	エ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(3)	オ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	カ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(4)	キ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ク	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(5)	ケ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	コ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(6)	サ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	シ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ス	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	セ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

2

(1)	ア	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	イ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(2)	ウ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	エ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(3)	オ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	カ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(4)	キ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ク	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(5)	ケ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	コ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(6)	サ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	シ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(7)	ス	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	セ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(8)	ソ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	タ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(9)	チ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ツ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(10)	テ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ト	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

3

(1)	ア	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	イ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(2)	ウ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	エ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(3)	オ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	カ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(4)	キ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	ク	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(5)	ケ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	コ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(6)	サ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

4

(1)	ア	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	イ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(2)	ウ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	エ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(3)	オ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
	カ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
(4)	キ	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

(注) この解答用紙は実物を縮小してあります。A3用紙に147%拡大コピーすると、ほぼ実物大で使用できます。(タイトルと配点表は含みません)

100点

計

国語解答用紙

評点
100

推定配点	
四三二一	
各問問各	
2一12	
点々点×	
×問問×	
8三五10	
各各	
22点×	
66点×	
問問六	
四六八	
各各	
33点×	
55点×	
100点	計

注意事項
 1. H BまたはBの黒鉛筆を使うこと。
 2. 間違えたマークは、完全に消すこと。
 3. 用紙を、折曲げたり汚さないこと。

マーク記入例

良い例	●	悪い例	ⓧⓧⓧⓧ
-----	---	-----	------

氏名

--

※受験番号を確認すること

受験番号			
千	百	十	一
①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
③	④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱
⑲	⑳	⑳	⑳
⑳	⑳	⑳	⑳

一

問一	(1)	A	B	C	D
	(2)	A	B	C	D
問二	(1)	A	B	C	D
	(2)	A	B	C	D
問三	(1)	A	B	C	D
	(2)	A	B	C	D
問四	(1)	A	B	C	D
	(2)	A	B	C	E
問五	(1)	A	B	C	D
	(2)	A	B	C	D

二

問一	(a)	A	B	C	D
	(b)	A	B	C	D
	(c)	A	B	C	D
	(d)	A	B	C	D
	(e)	A	B	C	D
問二					
問三	(a)	A	B	C	D
	I	A	B	C	D
	II	A	B	C	D
問四					
問五					
問六					
問七					
問八					
問九					
問十					

三

問一	X	A	B	C	D
	Y	A	B	C	D
問二	①	A	B	C	D
	③	A	B	C	D
問三	⑤	A	B	C	D
		A	B	C	D
問四					
問五					
問六					
問七					
問八					

四

問一	A	B	C	D
問二	A	B	C	D
問三	A	B	C	D
問四	A	B	C	D
問五	A	B	C	D
問六	A	B	C	D
問七	A	B	C	D
問八	A	B	C	D

(注) この解答用紙は実物を縮小してあります。B4用紙に141%拡大コピーすると、ほぼ実物大で使用できます。(タイトルと配点表は含みません)

英語解答

- | | |
|---|---|
| 1 (1) C (2) A (3) A | (5) ケ…E コ…D |
| 2 (1) B (2) D (3) C | 5 (1) B (2) B (3) B (4) C |
| 3 (1) B (2) C (3) C (4) A
(5) C (6) D (7) A (8) D
(9) B (10) D | (5) D |
| 4 (1) ア…E イ…F
(2) ウ…E エ…F
(3) オ…E カ…D
(4) キ…C ク…F | 6 (1) B (2) A (3) D (4) A
(5) A |
| | 7 (1) A (2) D (3) D (4) B
(5) D |
| | 8 (1) C (2) D (3) A (4) B |

1 [単語の発音]

- (1) (A) find[ai] (B) light[ai] (C) wish[i] (D) prize[ai]
 (2) (A) piano[æ] (B) age[ei] (C) paper[ei] (D) change[ei]
 (3) (A) aunt[æ] (B) August[ɔ:] (C) author[ɔ:] (D) daughter[ɔ:]

2 [単語のアクセント]

- (1) (A) áiport (B) for-gét (C) mú-sic (D) póck-et
 (2) (A) bás-ket-ball (B) díf-fi-cult (C) Sát-ur-day (D) to-mór-row
 (3) (A) af-ter-nón (B) Jap-a-nése (C) to-géth-er (D) vi-o-lín

3 [適語(句)選択・語形変化]

- (1)現在完了('have/has+過去分詞')の文なので、主に完了形とともに用いられ「～以来」を表すsinceが適切。「スミスさんは2000年からずっとそこに住んでいる」
- (2)後半部分に書かれている内容から、be poor at～「～が苦手だ」とする。 cf. be good at～「～が上手[得意]だ」「彼は英語が苦手なので、彼のテストの点数はいつも低い」
- (3)「地球は太陽から3番目の～だ」なのでplanet「惑星」が適切。「地球は太陽から3番目の惑星だ」
- (4)空所の直前にan、直後に名詞のquestionがあるので、母音で始まる形容詞が入ると考えられる。easilyは副詞で「簡単に」。「物語の終わりに簡単な質問がある」
- (5)be afraid of ~ing「～することを恐れる」「英語を話すときに間違えることを恐れてはいけない」
- (6)'give+人+物' 「(人)に(物)を与える」の形。「人」の部分にくる代名詞は目的格。 she-her-her 「彼は誕生日プレゼントとして彼女に人形をあげた」
- (7)'It is ~ for +人+to …' 「(人)にとって…することは～だ」の形式主語構文。「私にとって、この辺りで野球をするのは楽しい」
- (8)The woman is my sister が文の骨組み。空所からcarまではThe womanを修飾する部分と考えられる。「運転している(女性)となるdrivingが適切(現在分詞の形容詞的用法)。「この車を運転している女性は私の姉[妹]です」

(9)後半部分のthe old one or the new oneから、「どちらの」の意味を表すwhichが適切。「あなたはどちらのペンを使いましたか、古いですか、それとも新しいですか」

(10)ケンジ：「放課後、僕の家で一緒に勉強しよう」／サム：「そうしよう」//サムの応答Yes, let's. から、ケンジはShall we～? 「～しないか」とサムを誘っていることがわかる。

4 [整序結合]

- (1)「～していた」は過去進行形'was/were+～ing'で表せる。「その時」はat that time。不要語はare。 They were playing chess at that time.
- (2)「これはシャツですか」Is this the shirt? が文の骨組み。語群にwhichがあるので、これを関係代名詞として用いてthe shirtを関係代名詞節で修飾すると考えられる。「30%オフの」は「30%オフで売られている」と読み換えwhich is on saleとまとめ、後ろのfor 30% offにつなげる。不要語はwho。 Is this the shirt which is on sale for 30% off?
- (3)主語Weの後、「AをBと呼ぶ」は'call+A+B'で表せるので、call this bird uguisuとまとめ、最後にinを置く。「in+言語」で「～語で」。不要語はfor。 We call this bird uguisu in Japanese.

(4)「～を知っていますか」Do you knowで始め、knowの目的語を‘疑問詞+主語+動詞…’の語順の間接疑問でwhere Ushiku Station isとまとめ。不要語はhave。 Do you know where Ushiku Station is?

(5)'命令文、and …' 「～しなさい、そうすれば…」の文。andの後、「～に間に合うだろう」は動詞catchを用いてyou will catchとし、「始発電車」the first trainをcatchの目的語として後ろに置く。不要語はthough。 Get up at four tomorrow, and you will catch the first train.

5 [英問英答一広告を見て答える問題]

『全訳』45周年記念祭／メープルテニスクラブ／練習時間：毎日午後7時まで／半額スペシャル／コート貸し出し／月曜日から金曜日、午前8時から午後7時まで／1時間20ドル／土曜日・日曜日、午前8時から正午まで／1時間30ドル／(週末の午後の貸し出しは通常料金)／8月4日金曜日は、45周年記念です／驚きの「ギター王」、ジョン・バクスターを迎えて、スタッフと会員の親睦テニスとパーティー／ご登録はお電話で！／ニューバーグ、プレザント・ビュー・ロード2300/www.mapletennis.com 613-543-2016

- (1)「8月4日は、どんな種類の音楽を聴くことが期待できるか」—④「ギター」 “The Guitar King”とある。 (2)「もしパーティーに参加したければ何をしたらいいか」—④「電話で登録する」広告の下から3行目参照。 (3)「このテニスクラブではなぜ半額キャンペーンがあるのか」—④「なぜなら記念祭だから」 冒頭に45th Anniversaryとある。 (4)「日曜日にこのクラブでは、何時にテニスを終えなければならないか」—④「午後7時」 7 DAYS A WEEK TILL 7 P.M. とある。 (5)「土曜日の午後、1時間コートを借りるといいくらかかるか」—④「60ドル」 週末の午後は通常料金なので、\$30の2倍の料金になる。

6 [対話文完成一適文選択]

『全訳』■母(M)：あなたは新しい先生の誰かにメールをしたの？ ■ケン(K)：うん。その中の1人、ウィリアム先生が「4階の教室に来てください」という返信を送ってくれたよ。 ■M：気をつけて。ここはイギリンド。イギリンドでは、2階のことを1階って呼ぶのよ。 ■K：本当に？

じゃあ、⁽¹⁾イングランドの人たちは1階のことを何と呼ぶの？⁵M：ground floorって言うわ。⁶K：わかった。気をつけるよ。⁷M：いつそこに行かなきゃならないの？⁸K：調べさせて。メールには「At quarter to eight」って書いてあるけど、⁽²⁾「quarter to eight」って何時？⁹M：8時15分前よ。¹⁰K：わかった。一緒に来てくれる？¹¹M：1人で行かなきゃ。心配いらないわ。⁽³⁾行き方を教えてあげるから。この地図を見て。ウォーターラーでペイカールー線に乗って、オックスフォード・サーカスでセントラル線に乗り換える。それから、3つ目の駅、ランカスター・ゲートで電車を降りなさい。¹²K：難しそう！でもやってみるよ。¹³M：そうこなくちゃ。⁽⁴⁾明日は早く家を出た方がいいわよ。¹⁴K：わかった。今晚は早く寝るよ。明日の天気はどうか知ってる？傘を持っていった方がいいか知りたいんだ。¹⁵M：⁽⁵⁾持っていた方がいいわ。雨が降りそ�だから。傘が役に立つわよ。

(1)直後の母親の返答から、ケンは「1階」の呼び方を尋ねたとわかる。(2)直後の母親の返答から、quarter to eight が何時なのか尋ねたとわかる。(3)この後母親はケンに地図を見せながら行き方を説明していることから、⑦が適切。(4)直後のケンの返答から、母親は初めて行く場所だから早めに出た方がいいとアドバイスしたと考えられる。(5)母親は傘が役に立つと言っているので、雨の予報だと考えられる。

7 [長文読解総合一説明文]

『全訳』¹今までにイルカについて聞いたり読んだりしたことはあるだろうか。少なくとも、彼らが難しい芸当ができるることは知っているだろう。イルカはとても賢い。彼らには一種の言語がある。高音の音声を使ってお互いに話をするのだ。イルカはとても人なつっこくもある。²ここに興味深い話がある。ある女性が船から海に落ちた。夜のことで、誰もそれに気づかなかった。彼女が死んでしまうと思ったとき、2頭のイルカが彼女のものとやつて来た。そして、彼女の顔を水面より上に押し上げ始め、最終的に彼女を岸まで連れていった。なぜこうしたことが起きたのだろうか。イルカは魚ではない。イルカは空気を呼吸しなければ生きないので、ときどき赤ん坊を水面まで連れていくことがある。イルカはその女性を自分たちの赤ん坊だと思ったのだろうか。確かなことはわからない。ご存じのとおり、人とイルカはお互いに話すことができない。³「あなたはイルカが好きか？」と尋ねられたら、ほとんどの人は「はい」と言う。なぜだろうか。もし動物園や水族館を訪れたことがあれば、そこでイルカショーを見たことがあるかもしれない。人はイルカが自分たちのために演じてくれるのを見るうれしくなる。イルカにたくさんのこと教えられる上手なトレーナーもいる。イルカはなんてすてきな動物なのだろう。⁴イルカは穏やかな動物だ。彼らは決して人に危険なことをしない。ただえさのために魚を捕るだけだ。おなかがすいていなければ、泳いでいる人たちと遊ぶことさえある。イルカは犬よりも賢いという人もいる。将来、羊の牧場で働く犬のように、養漁場で人を手伝ってくれるかもしれない。こうした研究はすでに始まっている。しかし、現在イルカには大きな問題がある。世界の多くの場所で海水が汚れてきているので彼らの生活が難しくなっているのだ。海にいる我々の友人たちを助けるために何か考えてみるのはどうだろうか。

- (1)<英問英答・語句解釈>「①の文中の『intelligent』と同じ意味を持つのはどの単語か」—④
「smart(賢い)」 brave「勇敢な」 positive「前向きな」 gentle「優しい」
- (2)<英問英答・指示語>「②の文中の『これ』は何か」—①「イルカは賢いので、おそらくその女性を岸に連れていくことで彼女を助けた」 この this は直前の文の内容を指している。
- (3)<英問英答>「この話によれば、なぜイルカが好きな人が多いのか」—⑤「人々はイルカのショー

を楽しむから」 第3段落第3、4文参照。

- (4)<英問英答>「現在、イルカにとっての危険は何か」—⑧「彼らは海中にきれいな水を見つけられない」 第4段落終わりから2、3文目参照。

8 [長文読解総合一エッセー]

『全訳』¹ジェットコースター、お化け屋敷、タワー・オブ・テラー——誰にでも遊園地で自分の大好きな乗り物がある。私のは速くもなければ怖くもないが、それでもとてもおもしろいものだ。それは穏やかな観覧車である。観覧車の頂上にいるのはわくわくするし、くつろげもする。私は東京のお台場にある観覧車の頂上から日本で一番高い山や東京タワー、レインボーブリッジを見たことがある。²最初の観覧車は、アメリカで3番目に大きな都市であるシカゴで100年以上前につくられた。1893年にオープンしたとき、それがエンジンで動くことに人々は驚いた。19世紀の終わりには、ほとんどの機械はまだ手動だったのだ。おもしろいのは、もともとそれは人々が乗るために同じくらい人々が見るためにつくられたということだ。それは夜、ライトアップされるとすばらしい眺めになるようにデザインされていた。³もし観覧車がそれほどすばらしいのなら、なぜ「レインボー・ホイール」とか「スーパー・サークル」と呼ばれないのだろうか。それは、それを発明したジョージ・W・B・フェリスという人物にちなんで名づけられたからである。彼の観覧車は世界中ですぐに人気になり、日本での最初のものは1905年頃、東京の浅草にある「花やしき」でオープンした。今日、これら巨大な円形のアトラクションは最も一般的な遊園地の乗り物である。ところで、ハイ・ローラーと呼ばれる観覧車が現在、世界最大の観覧車である。それはギャンブルの都市ラスベガスにあり、高さが約168メートルある。⁴新しい観覧車は単にだんだんと大きくなっているだけではない。より創造的かつ独創的にもなっているのだ。シンガポール・フライヤーを例に挙げてみよう。人々は、このアトラクションからシンガポールのスカイラインを眺めながら夕食を楽しむことができる。身近な別の例では、東京ドームシティがカラオケ会社と共同で開発した、世界初のカラオケを楽しむ観覧車がある。人々は「ビッグ・オー」から、東京の景色を楽しみながら、自分たちの大好きな曲を歌うことができる。そしてそれは世界最大の、中心軸のない観覧車である。ジェットコースターさえその中心を通り抜けるのだ。なんとわくわくすることだろう！

- (1)<英問英答・指示語>「①の文中の『私のもの』の意味は何か」—⑥「私の大好きなアトラクション」 前後の流れから Mine=My favorite ride だとわかる。この ride は「遊園地の乗り物」という意味で、attraction と言い換えられる。

- (2)<英問英答>「東京タワーを見たとき筆者はどこにいたか」—⑦「お台場」 第1段落最終文参照。

- (3)<英問英答>「この話によれば、次の中で正しいものはどれか」—⑨「最初の観覧車は人々が見るためにつくられた」 第2段落第4文参照。

- (4)<英問英答・指示語>「②の文中の『これらの巨大な円形のアトラクション』とは何か」—⑩「観覧車」 話題である「観覧車」のことを、その形状からこのように言い換えているのである。

- (5)<英問英答>「新しい観覧車に関して何が独特か」—⑪「景色を楽しみながら、その中で他のことができる」 第4段落に新しい観覧車の例が書かれている。食事をしたりカラオケをしたり、ただ景色を楽しむだけではなく、別のことができるという点が挙げられている。

数学解答

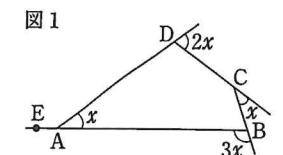
- 1**
- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| (1) ア…2 イ…7 | (7) タ…1 チ…8 |
| (2) ウ…- エ…9 | (3) 2 |
| (4) カ…- キ…3 ク…1 ケ…1 | (8) ツ…3 テ…7 ト…5 |
| コ…6 | 3 (1) 8 (2) イ…8 ウ…1 エ…6 |
| (5) サ…3 シ…- ス…2 | (3) オ…4 カ…8 |
| (6) 6 | (4) キ…- ク…1 ケ…2 コ…3 |
- 2**
- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) ア…1 イ…2 | (7) サ…6 |
| (2) ウ…2 エ…4 オ…0 | (3) 4 |
| (4) キ…2 ク…0 ケ…0 | 4 (1) ア…5 イ…6 |
| (5) コ…7 サ…0 シ…2 ス…4 | (2) ウ…1 エ…9 |
| (6) セ…3 ソ…6 | (3) オ…5 カ…1 キ…8 |

1 [独立小問集合題](1)<数の計算>与式 = $35 + (-8) = 35 - 8 = 27$ (2)<式の計算>与式 = $36a^2b^2 \div (-4ab^2) = -\frac{36a^2b^2}{4ab^2} = -9a$ (3)<式の値>与式 = $(\sqrt{3}-2)^2 + 4(\sqrt{3}-2) + 3 = 3 - 4\sqrt{3} + 4 + 4\sqrt{3} - 8 + 3 = 2$ (4)<式の計算>与式 = $\frac{2y - 3(x-3y)}{6} = \frac{2y - 3x + 9y}{6} = \frac{-3x + 11y}{6}$ (5)<連立方程式> $\frac{1}{3}x - \frac{1}{4}y = \frac{3}{2}$ ……①, $2x + 5y = -4$ ……②とする。①×12より, $4x - 3y = 18$ ……③
①' - ③×2より, $-3y - 10y = 18 - (-8)$, $-13y = 26 \therefore y = -2$ これを②に代入して, $2x - 10 = -4$, $2x = 6 \therefore x = 3$ (6)<二次方程式の応用>二次方程式 $x^2 + ax + 12 = 0$ の2つの解がともに整数であることより, この二次方程式の左辺は因数分解できる。定数の項が12だから, $(x-1)(x-12) = 0$, $(x-2)(x-6) = 0$, $(x-3)(x-4) = 0$, $(x+1)(x+12) = 0$, $(x+2)(x+6) = 0$, $(x+3)(x+4) = 0$ が考えられ, このとき, a の値は, それぞれ, -13, -8, -7, 13, 8, 7となるので, a の値は6個ある。**2** [独立小問集合題](1)<数の性質> $7\sqrt{3} = \sqrt{7^2 \times 3} = \sqrt{147}$ だから, $\sqrt{144} < \sqrt{147} < \sqrt{169}$ より, $12 < 7\sqrt{3} < 13$ である。よって, 整数部分の値は, 12である。(2)<一次方程式の応用>5%の食塩水を xg とする。3%の食塩水 $400g$ と5%の食塩水 xg を混ぜて, 水を $40g$ 蒸発させるから, 4%の食塩水は, $400+x-40=x+360(g)$ できる。このとき, 3%の食塩水 $400g$ に含まれる食塩の量と5%の食塩水 xg に含まれる食塩の量の和が, できた4%の食塩水 $x+360g$ に含まれる食塩の量となるから, $400 \times \frac{3}{100} + x \times \frac{5}{100} = (x+360) \times \frac{4}{100}$ が成り立つ。これを解くと, $1200+5x=4x+1440$ より, $x=240(g)$ となる。(3)<二次方程式の応用>もとの正方形の1辺の長さを $x\text{cm}$ とする。1組の向かい合う辺の長さを4cm長くし, もう1組の向かい合う辺の長さを3cm短くするので, 長方形の辺の長さは, 一方が $x+4\text{cm}$, もう一方が $x-3\text{cm}$ となる。長方形の面積が正方形の面積の $\frac{1}{2}$ なので, $(x+4)(x-3) = \frac{1}{2}x^2$ が成り立つ。これを解くと, $x^2 + x - 12 = \frac{1}{2}x^2$, $2x^2 + 2x - 24 = x^2$, $x^2 + 2x - 24 = 0$, $(x-4) \times (x+6) = 0$ より, $x=4$, -6 となる。1辺を3cm短くすることから $x > 3$ だから, $x=4(\text{cm})$ である。

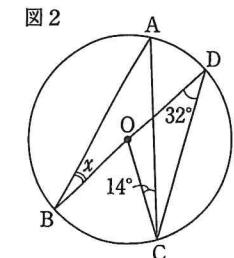
(4)<資料の活用>取り出した30個の玉のうち12個が白玉だから, $\frac{12}{30} = \frac{2}{5}$ より, 袋の中に入っている玉のうちの $\frac{2}{5}$ が白玉と考えられる。袋の中には500個の玉が入っているので, 袋の中に入っている白玉は, およそ, $500 \times \frac{2}{5} = 200$ (個)である。

(5)<資料の活用一度数, 相対度数>度数の合計が50人で, 17m以上19m未満の階級の相対度数が0.14だから, この階級の度数 x は, $x = 50 \times 0.14 = 7$ (人)である。また, 全ての階級の相対度数の合計が1.00になるから, $0.04 + 0.08 + 0.14 + 0.20 + z + 0.18 + 0.10 + 0.02 = 1.00$ より, $z = 0.24$ である。

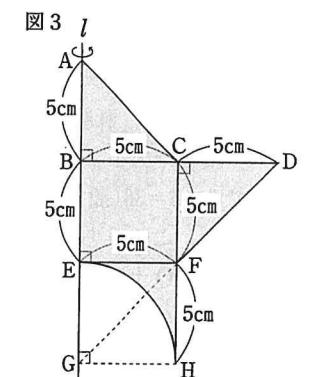
(6)<図形一角度>右図1のように, 4点A, B, C, Dを定め, BAを延長した直線上に点Eをとる。 $\angle DAE = 180^\circ - \angle DAB = 180^\circ - x$ と表せる。多角形の外角の和は 360° だから, 四角形ABCDで外角の和を考えると, $(180^\circ - x) + 3x + x + 2x = 360^\circ$ が成り立つ。これより, $5x + 180^\circ = 360^\circ$, $5x = 180^\circ$, $x = 36^\circ$ となる。



(7)<図形一角度>右図2のように, 4点A, B, C, Dを定める。△OCDはOC=ODの二等辺三角形だから, $\angle OCD = \angle ODC = 32^\circ$ である。これより, $\angle ACD = \angle OCD - \angle OCA = 32^\circ - 14^\circ = 18^\circ$ となる。よって, \widehat{AD} に対する円周角より, $\angle x = \angle ACD = 18^\circ$ となる。



(8)<図形一体積一回転体>右下図3のように, 点A~Hを定める。四角形BEFC, EGHFが正方形, △CFDが直角二等辺三角形より, DFを延長した直線は点Gを通る。よって, 直線lを軸として1回転させると, 四角形BEFDがつくる立体は, △BGDがつくる円錐から△EGFがつくる円錐を除いた立体となる。ここで, $\triangle EGF \cong \triangle BAC$ だから, $\triangle EGF$ がつくる円錐と $\triangle BAC$ がつくる円錐は合同な立体になる。そのため, $\triangle BAC$ と四角形BEFDがつくる立体の体積の和は, $\triangle BGD$ がつくる円錐の体積と等しい。 $\triangle BGD$ がつくる円錐は, 底面の半径がBD=5+5=10, 高さがGB=5+5=10だから, $\frac{1}{3} \times \pi \times 10^2 \times 10 = \frac{1000}{3}\pi$ となる。さらに, \widehat{EH} , 線分EF, FHで囲まれた图形がつくる立体は, 正方形EGHFがつくる円柱からおうぎ形GEHがつくる半球を除いた立体である。正方形EGHFがつくる円柱は, 底面の半径がEF=5, 高さがEG=5, おうぎ形GEHがつくる半球は, 半径がEG=5だから, \widehat{EH} , 線分EF, FHで囲まれた图形がつくる立体の体積は, $\pi \times 5^2 \times 5 - \frac{4}{3}\pi \times 5^3 \times \frac{1}{2} = \frac{125}{3}\pi$ である。以上より, 求める立体の体積は, $\frac{1000}{3}\pi + \frac{125}{3}\pi = 375\pi(\text{cm}^3)$ となる。

**3** [関数一関数 $y=ax^2$ と直線]

<基本方針の決定>(4) 直線CDと直線OBの関係に気づきたい。

(1)<直線の式>次ページの図1で, 点Bは放物線 $y = \frac{1}{4}x^2$ 上にあり x 座標が-4だから, $y = \frac{1}{4} \times (-4)^2 = 4$ より, B(-4, 4)である。また, A(-8, 0)だから, 2点A, Bの座標より, 直線lの傾きは $\frac{4-0}{-4-(-8)} = 1$ である。直線lの式を $y = x + b$ とおくと, 点Aを通ることより, $0 = -8 + b$, $b = 8$ となる。よって, 直線lの式は, $y = x + 8$ である。

国語解答

- | | |
|--|---|
| <p>問一 (1)…⑧ (2)…④
問二 (1)…⑧ (2)…⑨
問三 (1)…⑨ (2)…⑧
問四 (1)…⑨ (2)…⑩
問五 (1)…⑩ (2)…⑨
問一 (a)…⑧ (b)…⑨ (c)…⑨ (d)…⑩ (e)…⑨
問二 ⑩
問三 I…⑩ II…⑧ III…⑧
問四 ⑨ 問五 ⑨ 問六 ⑨</p> | <p>問七 ⑧ 問八 ④ 問九 ⑩
問十 ⑨
問一 X…⑩ Y…⑨
問二 ①…⑧ ③…⑧ ⑤…⑩
問三 ⑨ 問四 ⑨ 問五 ⑨
問六 ⑩ 問七 ⑨ 問八 ⑩
問四 ⑨ 問五 ⑨ 問六 ⑩
問七 ⑩ 問八 ⑩</p> |
|--|---|

〔国語の知識〕

問一<四字熟語>(1)⑧は、「率先垂範」と書く。真っ先に手本を示すこと。(2)⑨は、「雲散霧消」と書く。雲や霧のように散り消えてなくなること。

問二<慣用句>(1)「手を貸す」は、手伝う、という意味。「手を焼く」は、扱いに困る、という意味。「手を広げる」は、仕事などの範囲を広くし、規模を大きくする、という意味。(2)「顔がきく」は、信用や力があるために相手に対して無理が言える、という意味。「気がきく」は、気遣いが行き届く、という意味。「鼻がきく」は、ある事柄について敏感に感受できる、という意味。

問三<ことわざ>(1)「災いを転じて福となす」は、不運を幸運の機縁とする、という意味。「二兎を追う者は一兎をも得ず」は、複数の目的を同時に持つと、一つの目的すら成功しない、という意味。「背に腹は替えられぬ」は、切羽詰まった事態のためには、他のことを後回しにせざるをえない、という意味。(2)「舟に刻みて、剣を求む」は、物事にこだわって状況や事態の変化に応じることができない、という意味。「竜を書いて、睛を点ぜず」は、肝心なところが欠けているため、よくできいても、完全とはいえない、という意味。「株を守りて、兎を待つ」は、古い習慣を守って時に応じた物事の処理ができない、という意味。いつまでも古い習慣にこだわる、という意味。

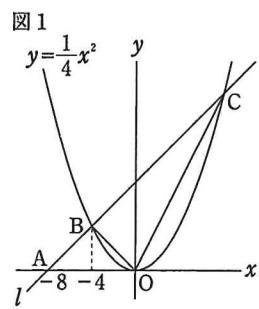
問四<文の組み立て>(1)何が「見えました」なのかを考えると、「姿が」「見えました」となるので、「姿が」が「見えました」に対する主語の部分である。(2)何が「まちがっている」のかを考えると、「意見が」「まちがっている」となるので、「意見が」が「まちがっていると」に対する主語の部分である。

問五<語句>(1)「どうか」は、願望や依頼の意味を表す副詞。(2)「てんで」は、打ち消しの表現を伴う副詞。

〔論説文の読解—哲学的分野—人間〕出典：西谷啓治『宗教と非宗教の間』。

<本文の概要>近世以降、人間形成の道から、「行」という契機が脱落した。ある事柄を会得する知が、同時に自知でもあるような、主客合一の次元での知は、身体的な行いとの統一にのみ成立する。労働の将来の理想は、機械化される仕事は全て機械化され、残りの真に人間的なものが全身心的な人間の自己実現、全人的な自覚の道にまで高められることであろう。現代では、身体的なはたらきが人間の自己集中的な実現という意味を持ち、精神集中による精神力の育成、すなわち「行」の性格を含んでいるものは、広義の遊びの領域である。芸術やスポーツなどの遊びが、精神力の育成であると

(2)<座標>右図1で、(1)より、点Cは放物線 $y=\frac{1}{4}x^2$ と直線 $y=x+8$ の交点である。この2式より、 $\frac{1}{4}x^2=x+8$, $x^2-4x-32=0$, $(x+4)(x-8)=0$ となるので、 $x=-4, 8$ である。よって、点Cのx座標は8であり、y座標は $y=\frac{1}{4}\times 8^2=16$ となるから、C(8, 16)である。



(3)<面積>右図1で、A(-8, 0)より、AO=8である。また、2点C, Bのy座標はそれぞれ16, 4だから、AOを底辺と見ると、△AOCの高さは16, △AOBの高さは4である。よって、 $\triangle BOC=\triangle AOC-\triangle AOB=\frac{1}{2}\times 8\times 16-\frac{1}{2}\times 8\times 4=48$ である。

(4)<座標—等積変形>右図2で、△BOC, △BODの底辺をOBと見る。このとき、△BOC=△BODより、この2つの三角形の高さは等しいから、CD//OBとなる。よって、点Cを通りOBに平行な直線と、放物線 $y=\frac{1}{4}x^2$ との交点が点Dとなる。B(-4, 4)より、直線OBの傾きは $\frac{0-4}{0-(-4)}=-1$ だから、直線CDの傾きも-1である。直線CDの式を $y=-x+b'$ とおくと、C(8, 16)を通ることより、 $16=-8+b'$, $b'=24$ となり、直線CDの式は、 $y=-x+24$ である。これと放物線の式 $y=\frac{1}{4}x^2$ より、 $\frac{1}{4}x^2=-x+24$, $x^2+4x-96=0$, $(x+12)(x-8)=0$ となり、 $x=-12, 8$ となる。よって、点Dのx座標は-12であり、 $y=\frac{1}{4}\times(-12)^2=36$ より、D(-12, 36)となる。

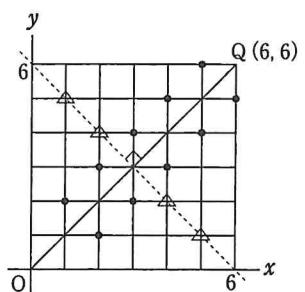
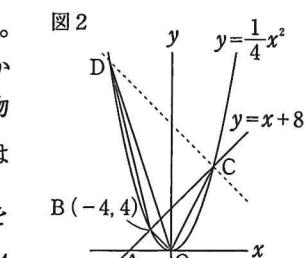
4 [確率—さいころと座標平面]

<基本方針の決定>(1) 点Pが線分OQ上にない場合である。(2) PO=PQとなる場合だけである。(3) 直線OQとの距離が最も小さくなる点を考える。

(1)<確率>大小2個のさいころを同時に投げると、目の出方は全部で $6\times 6=36$ (通り)あるから、右図で、点Pは36通りとることができる。このうち、3点O, P, Qが三角形をつくる場合は、点Pが線分OQ上にない場合である。O(0, 0), Q(6, 6)だから、点Pが線分OQ上の点となる場合は、(1, 1), (2, 2), (3, 3), (4, 4), (5, 5), (6, 6)の6通りある。よって、3点O, P, Qが三角形をつくる場合は $36-6=30$ (通り)だから、求める確率は $\frac{30}{36}=\frac{5}{6}$ である。

(2)<確率>右図で、△OPQが二等辺三角形になるのは、PO=PQとなるときで、点Pは線分OQの垂直二等分線上にある。線分OQの中点は(3, 3)だから、線分OQの垂直二等分線は、右上図のような点(0, 6), (6, 0)を通る直線となる。点Pが(3, 3)のときは三角形ができないので、36通りの点Pのうち、△OPQが二等辺三角形となる点Pは、△印をつけた(1, 5), (2, 4), (4, 2), (5, 1)の4通りある。よって、求める確率は $\frac{4}{36}=\frac{1}{9}$ である。

(3)<確率>右上図で、△OPQの底辺をOQと見ると、底辺の長さは変わらないので、△OPQの面積が最も小さくなるのは、高さが最も小さくなる場合である。よって、点Pは、直線OQとの距離が最も小さくなる点である。このようになる点Pは、36通りの点Pのうち、●印をつけた(1, 2), (2, 1), (2, 3), (3, 2), (3, 4), (4, 3), (4, 5), (5, 4), (5, 6), (6, 5)の10通りある。したがって、求める確率は $\frac{10}{36}=\frac{5}{18}$ である。



言ても、自知や自己究明の意味は含まれていないから、眞の意味での「行」ではないが、トレーニングの意味すら忘れられようとする現代においては、これにも重要な意味はある。人間が全人的な統一点を失ってきたことと、人格の分裂という状況は、知性の科学化が早くから起こりつつあった西洋では、以前から問題視されてきたが、彼らの目は、「行」を伴う東洋の宗教や文化に向けられている。

問一<漢字>(a)「携わる」と書く。Ⓐは「掲載」、Ⓑは「尋問」、Ⓒは「慎重」。(b)「舞踊」と書く。Ⓓは「溶かす」、Ⓔは「踏む」、Ⓕは「養う」。(c)「端的」と書く。Ⓖは「単行本」、Ⓗは「嘆く」、Ⓘは「担う」。(d)「純粹」と書く。Ⓓは「錯誤」、Ⓔは「窓枠」、Ⓕは「隔離」。(e)「克服」と書く。Ⓓは「伏流水」、Ⓔは「復帰」、Ⓕは「複製」。

問二<文章内容>知性の面で、「客体的な事物に関する知」が支配的になり、客観的な対象についての「究明」と(…X)，知る主体である自己自身を「内から変えて行く」ような「自己究明」とが一つでなくなった(…Y)。

問三<文章内容>I. 「科学が代表するような客観的な知」の場合は、「『知行合一』としての知であり行いである」とは言えない。II. 芸術やスポーツなどのトレーニングは、「『精神集中』による精神力の育成」でもあるとはいえる、自知や自己究明という意味までは含んでいない。III. 日本でも、客観的な知を主とする「知性」の支配が広まるにつれ、知との結びつきを失った情意の低迷や暴発を伴う彷徨、すなわち人格の分裂が現れるという現象が広まりつつあるが、それは、日本だけの問題ではない。

問四<語句>「契機」は、ある過程において変化や発展を生じさせるきっかけのこと。

問五<文章内容>「行」を伴う知の特色は、「ある事柄を会得するその知が、会得の過程において、同時に、知る自己自身をも内から変えて行く」点にある(Ⓐ…○)。その知は、「客観知を超えた次元の上に成り立つ知」である(Ⓑ…○)。そして、「ある事柄を会得する知が同時に自知でもある如き知」は、「身体的な行いと一つに(身心一如的に)のみ成立する」知である(Ⓒ…○)。

問六<文章内容>科学者は、「自らの科学的な知にくらまされて、一層自知に暗いということも起こり得る」のである。

問七<文章内容>「身体的な働きが人間の自己集中的な実現という意味を」持つ「眞に『人間的』なもの」が、労働ではなく、その正反対にあると思われる「遊び」の領域にあるということは、逆説的だから、「一見皮肉な現象」のようなのである。

問八<文章内容>トレーニングは、「知行合一という眞の意味での『行』になっていない」が、「『行』というものが人間に対してもつ本質的な意義」が忘れられている現在においては、トレーニングが「『行』という性格を含んでいること」自体が、重要な意味を持つのである。

問九<文章内容>「現代の傾向」が由来するところは、「科学に代表されているような客観知が人生を支配していること」である。ここでの「現代の傾向」とは、「いわゆる知識人の『知性』」が「求め合理性は、情意から切り離された、抽象的な、科学的合理性」であり、こうした「知性」の支配が広まる傾向のことである。

問十<文章内容>「人間が全的な統一点を失って来たということ、人格の分裂という状況」を、大きな問題としてきた西洋の人々の目が、今、東洋に向けられているのは、「東洋では、インドにおいても中国や日本においても、全的な統一、しかもあらゆる分裂を克服し得る根本的統一への道が、古くから開拓されていた」からである。この「道」が、すなわち、東洋の諸々の宗教や文化の拠って立つ「知行合一的な行道」なのである。

〔小説の読解〕出典：梶井基次郎『奎吉』。

問一. X<慣用句>「作り笑い」は、おかしくもうれしくもないのに、わざと笑うこと。Y<表現>奎吉は、弟から金を借りたさに、「卑しい利息のことなど」言ってしまった醜さを、弟の「確かに返してくれるのだったら」という言葉で改めて意識させられ、自ら恥じた。

問二①<語句>「盲目的」は、愛情や情熱、衝動などによって、理性的な判断ができない様子。

③<語句>「放埒」は、勝手気ままで繕まりのないこと。また、身持しが悪く、酒色にふけること。

⑤<慣用句>「矢も楯もたまらない」は、思い詰めてこらえることができない、気がせいてじっとしていられない、という意味。

問三<文章内容>奎吉は、「醜い欲望」を「拒否する意志の働くのを断念」しつつあった。奎吉の「理想や彼の両親の願望の忠臣である彼の意志」は、あまりに弱く、学問を怠けて「放埒」な生活をしたいという「あらゆる徳目と両立しない欲望」を抑えて真面目になろうと思う「ちっぽけな意志」は、すぐに「欲望」に負けてしまう。

問四<心情>学校を追われるほどまで、学業を怠り、「放埒」な生活の限りを尽くしたからには、父の怒りももっともだし、「心が改まったとわかるまで家へ置いてお小遣をやらない」というのも無理もないと、奎吉もわかっている。だが、「放埒」な生活をしたいという欲望は抑えられないで、奎吉は、自由にできる金が与えられないという処遇に納得し、了承することができない。

問五<文章内容>奎吉は、「とうとう弟にまで金を借りるようになった」という負い目を、弟に見られないように、わざと無表情を装って、「入用が出来た」からお前の貯金から金を出してきてくれと、まるで用事のように言った。奎吉は、弟に、金を貸してほしいとは言えなかったのである。

問六<心情>奎吉が、お前の貯金から金を出してきてくれと、まるで用事のように言ったのを、弟は、遊ぶ金が欲しいので自分から借りたいと本当はわかったのだが、兄が傷つくのをおそれて、あえて言わずに微笑した。その弟の表情に「奎吉をなぐさめるような柔軟な感情の表れ」を見て取った奎吉は、弟を生意気だと感じ、憎らしく思った。

問七<心情>奎吉は、「最後の醜さを出してしまった」とは思いながらも、「どうしても口止めをせずにいられなかった」ので、利息をつけて返すから金のことは誰にも言うなと、弟に注意した。だが、利息はいらないから、確かに返してくれるのなら金を渡してもいいという弟の言葉を聞いて、「卑しい利息のことなどを云った」醜さを、改めて思い知らされたような気がして、我ながら恥ずかしいと思ったのである。

問八<表現>学業の怠慢と放蕩が原因で、「お小遣」を差し止められた奎吉には、弟から金を借りても、返す当たがない。もし、何かの幸運でなにがしかの金が手に入っても、それをそっくり弟への返済に充てるには、遊びたいという自分の欲望を抑えなければならず、金が手に入ったらすぐにでも遊びに使いたい奎吉には、自分の欲望に無感覚でいることなど、できるはずがない。

四 [古文の読解—物語] 出典：『義経記』卷第五。

『現代語訳』源義経が、武藏坊弁慶をお呼びになっておっしゃったことには、「家来たちの心中を、この義経が知らないことはないけれども、静とのわずかの夫婦の縁を捨てることができなくて、ここまで女を連れてきたことは、我ながらまったく理解できない。ここから静を都へ帰したいと思うのはどうであろうか」(とおっしゃった)。武藏坊が威儀を正して申し上げたことは、「これこそすばらしいお計らいでございます。弁慶もこのようにこそ申し上げたかったのですけれども、(静を都へ帰してはどうかなどと進言したらあなた様のお怒りを買うかと)恐れをなし申し上げておりましたところ、そのようにご決心なされましたのならば、日の暮れませんうちに、早く早くお急ぎください」と申すので、(義経は今さら)「どうして帰すことができよう(いや、帰せない)」と言って、また「本心では帰したくな

い」と言うようなことも、侍たちの心中でどうであろうかと思われたので、どうしようもない。静を都へお帰しになった。／(義経は)「誰か、気持ちのある者が、静を都へ届けてほしいものだ」とおっしゃった。侍二人と、雑色三人が静にお供申し上げようということを申したので、「(お前たちは)全くこの義経に命をくれたものと思うぞ。道中よくよく気をつけて、都へ帰って、それぞれの者はそこからはどこへでも自由に行くがいい」とのお言葉を(侍たちは)お受けして、(また義経は)静をお呼びになっておっしゃったことは、「愛情が尽きて都へ帰すのではない。ここまで連れて來たのも、愛情が並大抵ではないためであったのだよ。(周囲の家来たちに対して)心苦しいはずの旅の途中でも人目をかまわずお前を連れてきたけれども、よくよく聞くとこの山というのは、役行者が踏み開きなされた菩提の峰なので、身を清めなければ、越えられない峰であるのに、(お前をいとおしいと思う)わが身の業に犯されて、ここまでお連れ申したことは、(女は穢れのものだから)神の怒りに触れる恐れがある。ここから都へ帰って、母禪師のもとで隠れて、来年の春を待ちなさい。この義経も、明年になっても思うようにならないならば、出家をしようと思うので、あなたももし気持ちがあつたら、一緒に出家入道して、経も読み、念仏も申したならば、現世も来世もどうして一緒にいないう�うか、いや、かならず来世も一緒になるであろう」とおっしゃったところ、静は最後まで聞くこともできないで、衣の袖を顔に当てて泣く以外のことはない。

問一<古文の内容理解>「かく」は、このように、という意味の副詞。義経が、静を都に帰そうと思うと弁慶に相談したので、弁慶も、私も以前からこのように申したく思っていたと同意した。「かく」の指示内容は、静を都へ帰すことである。

問二<古文の内容理解>義経は、静を都へ帰そうと思うと弁慶に相談したが、弁慶がすぐに賛成し、一刻も早く実行せよと迫るので、本心では静を都に帰したくないとは、いまさら言えなくなった。

「帰さじ」の「じ」は、打ち消し意志の助動詞。

問三<古文の内容理解>義経が、誰か、気持ちのある者が、静を都へ送って行ってほしい、とおっしゃった。「仰せらる」は、尊敬語。本文の会話以外の文で尊敬語が用いられているのは、判官に對してだけである。

問四<古文の内容理解>「志」は、意志のこと。「愚かならず」は、並大抵ではない、という意味。義経は、ここまで静を同行させたのも、静への愛情が深かったからこそだと説明した。

問五<古文の内容理解>これまで、静への愛情が断ち切れずに連れてきたが、この山は、役行者が開いた靈山で、「精進潔斎せでは、叶ふまじき峰」なので、これ以上、穢れである女を連れて山を越えようすると、神の怒りに触れる恐れがあると義経は言っているのである。

問六<古文の内容理解>義経は、来年になっても、こうして源頼朝から追われ続ける不本意な身の上だったら、出家しようと思うと、静に自分の覺悟を述べた。そして、「人」も、志があるならば、「ともに様をも替へ」て、経を読み、念仏すれば、来世も一緒にいられると言う。「様を替ふ」は、出家する、という意味。義経は、自分が出家したら、静にも出家してほしいと言ったのである。

問七<現代語訳>「などか」の「か」は、反語の係助詞。係り結びの法則で、「あらざらん」の「ん」は、推量の助動詞「む(ん)」の連体形で、「か」の結びとなって、反語構文をつくっている。現世も来世も、どうして一緒にいられないことがあろうか、いや、一緒にいられるだろう、という意味。

問八<古文の内容理解>義経は、静を都へ帰すことを弁慶に相談したが、弁慶が即座に賛成し、一刻も早く実行すべきだと言ったので(◎…○)、いまさら、本心では帰したくないとは言えなくなった(Ⓐ…○)。義経は、静を呼び、「禪師の許に忍びて、明年の春を待ち給へ」と言った(Ⓑ…○)。二人の侍と三人の雑色が、静を都に送り届けるのに志願した(Ⓓ…×)。